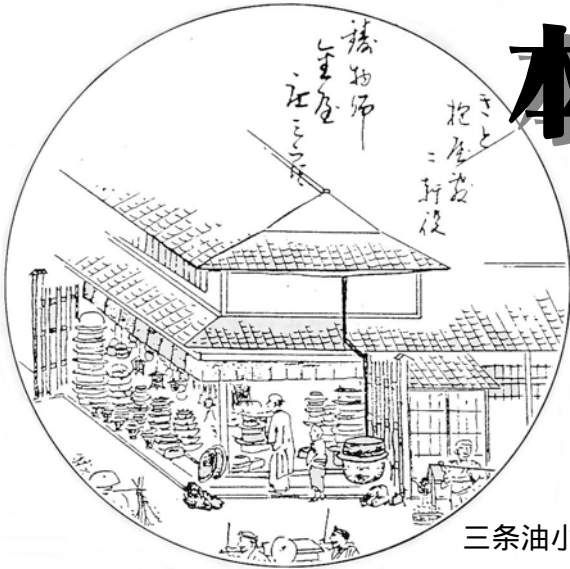


# 本能まちづくりニュース

第20号 平成15年12月20日発行

本能まちづくり委員会  
委員長 西嶋直和

E-mail: post@honnoh.net  
URL http://www.honnoh.net



三条油小路町絵図より鑄物師釜屋庄三郎方

## ようこそ 公開工房へ ～おいでやす 染のまち 本能～

今年で4回目となる「まちなかを歩く日」11月15・16日に、本能学区でも、「おいでやす染のまち本能」公開工房ガイドツアーを開催しました。今回は、西洞院三条下るの馬場染工さんのお店先を拠点にお借りしました。両日とも好天に恵まれ、訪れた人は合計300人ほど、そのうち工房巡りは27組169名の参加と、賑わいました。



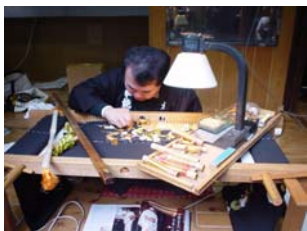
染めのまち本能



和服姿で受付

各工房では、それぞれ趣向を凝らして迎えいただき、お見せいただく工程が、製品が出来上がるまでの、どの工程なのか、またそれが、日頃のお仕事のほんの一部であること等の説明をうけ、見学者の皆さんは「奥が深い、堪能した。」と、本もののものづくりの価値を再認識された様子でした。今回は、体験をさせていただける工房もあり、自分の作品に満足そうでした。

### 馬場染工での 実演



#### 片岡刺繍

駒縫といわれる細かい技法を見せていただきました。



#### 福本糊置

複雑な下絵に防染のための糊を置く作業。絵心溢れ、小石に金色の蟹やトンボがいました。



#### 坪内紋章

かわいい誂えうちわのプレゼント。若い女性の行列。



#### 岡田商店

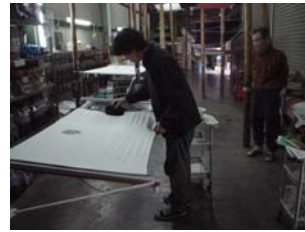
野菜細工。包丁の扱い方を指南。おせち料理やお弁当に登場するでしょうか。





### 松本金彩

金彩加工の歴史を学び、数々の技法を見せてもらいました。希望すれば、実技指導を受けて金彩袱紗をつくらせていただけます。



### 土山印染

紋や名前の入った風呂敷・袱紗・暖簾などが丹精こめて染め上げられていく工程を見せていただきました。



### 村田縫紋

ルーペで刺繍の縫いを見て、感嘆の声。刺繍の糸と西陣織の糸との違いなど、専門的な質問も出ました。

### 中東染工

型友禅染。仕立てあがった時に柄がつかないように型をおいて、染め分けされます。袱紗の隅に金糸目を置く体験もできました。刷毛の押し加減で微妙に金彩の仕上がりが変わります。



### 林龍昇堂

高貴な香りを体験しました。源氏香のお話を伺い、教養が高まった気分。お土産にいただいた新種のお香は、何の香り？



### 多田商店

形は同じでも、用途によって柄が違う。祇園祭りの時に、行列の袴もよく見ようと思います。役者の着る長袴に関心が集りました。

## ご尽力いただいた皆様、ありがとうございました

### 荒木金彩

豪華な作品に、ため息。金を混ぜた糊を使っの盛上加工を体験。「ケーキの絞り袋みたい」「ある程度のスピードでね」ドキドキしながらやっとなら描きました。「根気がいらいますなあ」



### 勝山引染

帯のぼかし染めの技法を紹介していただきました。生地を水平に張る工夫、昔の着物の洗い張りの風景を思い出しました。



### 組紐体験教室

一本の紐を組むことによってこれほど様々な形ができるとは、まことに日本の技の奥深さを感じます。さて今回は、本能会議室で、組紐伝統工芸師野垣吉弘氏(三条油小路町)を講師にお迎えして「叶結び」・「菊結び」・「男結び」の三種を習い、それを使って携帯のストラップを作成します。参加者はレジュメと「紐セット」を手に着席、野垣さんの説明が始まりました。

最初に太い紐で「叶結び」を教えていただきます。「ここを折る」「輪にして下さい」と説明されても「?」。ポイントが掴みにくかったのですが、野垣さんがくまなく回って指導されると皆さん少しづつコツを掴まれたようです。叶結びの次

は本日の目玉?!「菊結び」です。黒板に紐を貼り付けての説明に、またしても一同「???」。しかし実際に手を動かすと、思いのほかスムーズに紐が組めていけたようです。菊結びは結び終わってから花卉になる輪の大きさを整えるのが難関でした。

最後の締めは「男結び」です。この三種類の中では一番簡単に見えますが、侮っているとこんがらがります。しかし、皆さんきちんと体得され、無事ストラップを完成されました。もう一本用意されたもっと太い紐で同じものをもう一度作り、訶梨勒(かりろく)になりました。

会場は老若男女・親子連れと様々な参加者で、進行とともに熱気に包まれ、窓を開けても暑いひと時でした。それぞれが「世界に一つだけ」の作品を完成されました。(あ)



\*叶結び・結び目の表が口、裏が十になることから「叶」の字をあらわすのでこの名称で呼ばれる。(写真左端)

\*菊結び・結び目の形が、菊の花の形をしていることからこの名称で呼ばれる。(写真左から2番目)

\*男結び・裏表同じ結び目になる。固くてほだけにくいので荷造りの時に使用された。(写真左から3番目)

\*携帯ストラップ・(写真右端)

\*訶梨勒・室町時代から座敷の柱飾りに用いた具。象牙などでカリロクという木の果実形をつくり袋に入れ紐で吊るした。(写真上)





### びん工房

草稿図案から下絵を描き、染・彩色を一貫して行っておられます。お客さんの要望に添い、メンテナンスも含め生活に密着したものづくりがモットーです。「逃えだからこそ、お客さんの予算に合わせてくれるのです。」とご主人。



### 高岡下絵

青花で下絵を描く体験。「水を含ませ過ぎると泣きやすい」というアドバイスに従って、トンボとさくら模様の下絵描きに集中。



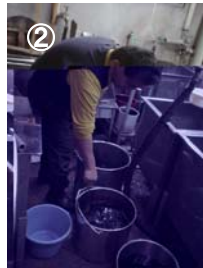
### 鹿島紋章

細い絵筆で家紋を手描きされます。蓄積された技術を駆使して、複雑かつ繊細な家紋を描いていただきました。一筆一筆に手の温もりと伝統工芸の重みを感じました。

### 園染工

絞り染を体験。①白生地を輪ゴムで数箇所絞る。②浸染1回目、脱水。③前のところはそのままにして、もう一度、輪ゴムで絞る。④浸染2回目、脱水。

⑤輪ゴムを解いて、完成！ほぼ30分で、初めに予想もしなかった、3色のオリジナルな絞り模様が染まり上がり、感激。



### 探訪 ◆◆◆生祥クラシックコンサート◆◆◆

フレッシュ生祥委員会の「まちなかを歩く日」イベントとして、11月15日午後7時から元生祥小学校講堂で「生祥クラシックコンサート」が開かれました。

第1部はキャッツのメドレーなど、フレッシュ・アイによる合唱、第2部は京都市民管弦楽団有志による室内楽の演奏で、フルート四重奏曲やクラリネット5重奏曲。第3部は合唱、室内楽の合同演奏に、客席の歌声も加わっての「第九」と「ふるさと」。まさに音楽コラボレーションの2時間でした。

会場となった元生祥小学校の講堂には、天井の六灯の間接照明とフロアに置かれた4基の柱のようなオブジェ風の照明。その幻想的で暖かな光の演出は、とても落ち着いた雰囲気醸成に役立っていました。舞台の三方を囲むように置かれた椅子は150席余りで、ほぼ満席。家族連れ、特に小さい子供さんたちの姿が多く見られ、当日のプログラムにはなかった、ディズニーメロディも披露されました。室内楽の演奏と合唱そして客席が、同じフロアで一体となった、身も心も温まるコンサート、外の寒さを忘れさせてくれるひとときでした。 Y.N.

### お知らせ

#### 本能自主防犯設立準備委員会より

- ◇ 2003年12月24日 学区内の防犯パトロールを行います。午後7:30 本能仮設会議室集合。暖かい服装で、懐中電灯を持ってお越し下さい。

#### 自治連合会より

- ◇ 2004年1月1日 新年を迎え、恒例の互礼会を、本能仮設会議室にて午前10時～11時に行います。学区民の方々のご参加をお待ちしております。
- ◇ 2004年1月12日 本能学区成人式を行います。例年通り、新成人の方々を学区でお祝いいたします。成人を迎えられ、参加ご希望の方は、自治連合会長岡山悟(TEL221-6608)までご一報下さい。

本能まちづくり委員会の  
次回開催は

平成16年1月13日(火)午後7時から  
場所 本能会議室 当日飛び入り歓迎!!

## 密着取材 「おーい ニッポン」出演の舞台裏



11月23日放送のNHKBS2「おーい ニッポン 今日はどこん京都府」。ご覧になられた方も多いかと存じます。「子どもたちが挑戦！友禅染め」に、本能陸上クラブの小学校高学年の子どもたちが出演しました。

11月21日夜、NHKのスタッフと、紅白歌合戦の振り付けもされている花柳糸之先生が、陸上クラブの練習が行われている堀川高校に来て、子どもたちにエンディングの振り付けを指導されました。子どもたちの遊び心を生かしてイメージを表現したい、という先生の思いを受けて、15人の子どもたちの役割分担、並び順が決められ、練習すること1時間余。繰り返しているうちにお互いの呼吸が合い、NHKのスタッフよりも上手にできるようになりました。



堀川高校での練習

翌22日は、平安神宮会場での現地練習。室内と広い戸外とは勝手が違い、振り付け変更。照明・音声・カメラのテスト、他のパーツの練習もあって、長引き、4:00から7:30までかかりました。「寒いし、お腹は空くし」でも、フィナーレでは大仕掛けのセットの前で、新作の京都府の歌に合わせ、ライトを浴びて踊るのですから、耐えました。

当日、23日は好天でした。友禅染めをする子どもたち第1陣27人は朝8:30に堀高前を出発。背中に「染めのまち 本能」と染めたおそろいのトレーナーを着て、平安神宮で2反の染めにとりかかりました。五代・田畑喜八さんの下絵は、流水に桜の花と緑のもみじ、丸に二引きの紋のついた赤い盃が浮かぶ、曲水宴の図です。藍の濃淡・赤・ピンク・緑・黒のアクリル系顔料で、それぞれの部分を塗ります。「糊糸目の縁から塗っていくんや」「伸子を持って揺らさんように」「筆を立てて」「筆先がぼさぼさになったら、絵の具をつけて整えて」「絵の具が溜まらんように薄くのばして」等々、友禅師のおじさん達から助言を受けながら、気持ちのよい青空の下、染めていきました。2度のテレビ中継後の休憩もそこそこに、子どもたちは熱心に仕事にかかり、田畑喜八さんに、「上手になったな」と誉めてもらうほど上達しました。ちょっと線よりはみ出ても大丈夫。友禅師が波頭をあしらって



色挿し作業

綺麗にして下さいます。付き添いのお母さんは合間に、「千人織」にチャレンジ。

午後の中継で、インタビューを受けました。次は糊落とし作業。タンク車で運んだ地下65mの名水を流して川をつくり、友禅流しの再現です。糊と余分の染料が落ちて水が濁ると「あれ(入浴剤のこと?)を入れたお風呂みたい」と子どもたち。腕まくりしてブラシでこすりました。これで、子どもたちは、数人を残して、第2陣と交代。今度は総勢20人。



糊落とし作業

友禅染はその間に干され、乾くと、白い糸目が出てやわらかい色合いになりました。5時前、友禅披露の中継。残念ながら、田畑喜八さんは席をはずしておられました。

日が落ちると、息が白くなるほど冷え込んできます。庭園・舞台・千人織屏風が完成し、いよいよエンディングです。まずリハーサル。うまくいきました。それから1時間待ち。役者が揃って中継開始。子どもたちは、待機中に反物の持ち方を確認したり、鳥の振りを練習したり、ちょっと緊張気味。ミニ清水の舞台からの、70年代堀高出身バンド「みやこもり」の歌う「京都の喫茶店」にのって、はい、スタート！ライトアップされた平安神宮社殿を背景に、水が流れるように優雅で、そして幻想的でした。



フィナーレ本番

テレビに映ったのは、一瞬のようでしたが、延べ3日、20時間の拘束によく耐えて、大役を果たした子ども達と、お世話して下さい陸上クラブのコーチ陣に、拍手です。ご苦労様でした。ありがとうございました。なお今回の友禅染め作品は、高倉小学校に寄贈されました。

### 編集後記

◎「無事完成なるか?」。一抹の不安をそれぞれの胸に組紐講習が始まりましたが、心配ご無用。野垣先生の指導力と杉下さんご夫妻の阿吽のサポート力で無事完成・終了しました。(あ)

◎未来を担う子どもたちの、伝統の技へのチャレンジに、大きな意味があると思いました。頑張ってくれた子どもたちや関係者の顔が浮かび、テレビの前で感動した1日でした。(Y.N.)

◎11月30日の防災訓練。三角巾の使い方、結び方・毛布での担架の作り方・心肺蘇生のコツ等、少しでも知っているのと知らないのとでは大きな違いだと思いました。N村

◎本能まちづくりニュースも、はや20号。少し雰囲気を変えてみました。いかがでしたでしょうか。まもなく年が変わります。よい年をお迎えください。来年もよろしくお祈りします。OM